



## 狭山市のごみ処理の現状

狭山市のごみと資源物は清掃センター(上奥富)、第二環境センター(稲荷山)、リサイクルセンター(新狭山)の3施設に運ばれ処理されます。その現状は次のとおりです。

●狭山市の年間ごみ収集量 (平成9年度)  
**53,245t**  
(一人当たり約326kg)

●年間ごみ収集量の施設別内訳

清掃センター **26,039t**  
第二環境センター **22,245t**  
リサイクルセンター **4,961t**

●4人家族の年間ごみ処理費用(平成9年度)  
**約45,300円**  
(一人当たり約11,327円)

### 私はこう考えます

富士見にお住まいの小久保美紀さんに、清掃センターを見学した感想を伺いました。

ごみを出したらそれでおしまいではないということを感じました。もやさないごみに混ざって集められたアルミ缶などの資源物は、手選別で再処理場に運び直しています。また、穴の空いていないスプレー缶などが見落とされ、誤って破砕機にかけられたら爆発を伴う大事故になりかねないというお話も伺いました。私たちのほんのちょっとした気遣いで、処理の手間が軽減されることがよく分かりました。個人見学も受け付けているそうなので、もっと多くの人に現場を見ていただき、私たちの生活の先にあるごみの行方を知ってもらいたいです。私自身はごみを減らすため、野菜や肉卵などの食品は一括配送してもらっています。束で届く野菜を個人で新聞紙などに包んで持ち帰るので、包装のビニールやパックがいりません。醤油や酢はリユースびんを使用し、戻ったびんは業者が洗い、生産者がそれを再使用しています。また、知り合いの魚屋さんでは経木と紙で魚を包んでお客さまに渡していますが、高級感があり売れ行きも良いそうです。企業や商店のかたも、できるだけごみが減るような商品や売り方を考えていただけるといいですし、私たち消費者も、例えば色つきの食品トレイは選ばないなど、できるだけリサイクルできる暮らしを考えていきたいものです。

清掃センターのもやすごみの内訳では紙類が約半数で、成分でも水分が半数を占めています。この紙をもっと古紙回収にまわすことができたら、もしくは生ごみを出すときにもっと水切りをきちんとできたら、と考えると、私たちの暮らしの中でごみを減らすことは、本当に手軽にできることだと思います。もちろん今はこんなふうに考えている私も、最初からごみ問題に積極的だったわけではありませんが、今回の見学でも知らなかったことが本当にたくさんありました。しかし、現代のいろいろな環境問題を考えると、私たち自身が吸っている空気、触れている水が汚れていくんだ、と大きな危機感を感じます。特に子どもができてからは、身近に真剣に考えるようになったのです。

リサイクルできる商品や再生品が他の品より割高に感じることもありますが、でも、多少お金を多く出しても、私たちの子孫が安心して暮らせる未来のためなら、納得できると思うのです。そのために、これからの私自身の生活の中で、難しいことでもなく、やりやすい方法を考える、できることから実践していきたいと思っています。

# 広げようリサイクルの輪 つなげよう地球環境を次世代へ

## リサイクル率が18.1%に上がりました

●ごみの総量  
(一人一日当たりの排出量)

家庭などから出たごみ	894g
集団回収量	66g <b>A</b>
総量	960g <b>B</b>

●家庭などから出たごみ内訳

もやすごみ	731g
もやさないごみ	70g
資源ごみ(びん、缶など)	83g <b>C</b>
粗大ごみ	10g
処理リサイクル※	25g <b>D</b>
合計	894g

※粗大ごみともやさないごみの処理過程で取り出した資源物

●リサイクル率の計算式  
 $(A)66g + (C)83g + (D)25g$   
 $\div (B)960g = 0.181 (18.1\%)$

●リサイクル率をさらに上げよう

リサイクル率とは、ごみの総量のうちの資源の割合です。集団回収と資源ごみの量、そしてもやさないごみ・粗大ごみを処理したときに出る資源の量を足した数値(リサイクルできる資源の総量)を、ごみの総量で割って出します。ですから、リサイクル率を上げるためにはごみの中の資源の量を増やさなければいけません。そのため、全部一緒にごみとして出してしまおうのではなく、細かく分別し資源として生かすことが大切です。

平成8年11月にリサイクル都市宣言をした狭山市。1年半が経過し、市民の皆さんの日ごろのご協力により、平成9年度のリサイクル率は前年度比2.5%上回る18.1%になり、素晴らしい成果を上げました。これからも市民や事業者と行政が力を合わせ、地球にやさしいリサイクル都市として発展するために努力していきましょう。

今、狭山市は2010年までにリサイクル率30%の数値目標を達成すべく、積極的に資源リサイクルを推進しています。

